



国際ロータリー第2590地区 川崎百合丘ロータリークラブ

Weekly Report

2014～2015年度

■ 会長 井上 勇 ■ 幹事 井上 久 ■ 会報 中村 和広

平成26年7月22日(火) 第1729回例会



作者の言葉
我々の Rotary は...
昭和五十二年春吉日
大友 五

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1729回例会記録 平成26年7月22日(火) 4/46回

<点鐘> 井上勇会長
<ソング> 我等の生業
<お客様ご紹介> 井上勇会長
東京西北RC 井部秀恭様

<会長報告> 井上勇会長
1. ロータリー米山奨学生・学友夏季レクリエーションの案内 長野・山梨方面 マリア・マグダレナさんが参加いたします。
8/31(日) 7:10 ホテルキャメロットジャパン集合
2. 『社会を明るくする運動』麻生区推進委員会における『川崎フロンターレと築く明るい麻生区少年サッカー教室』の開催について
7/24(木) 8:15 川崎フロンターレ麻生グラウンド
3. 山口会員の入院のお見舞いに安藤志子会員に行ってもらいました。7/19(土)に退院をし、良くなってきたら再び活動に参加したいとの報告がありました。

<幹事報告> 井上久幹事
*活動計画書着 川崎高津RC 川崎幸RC
川崎大師RC 川崎中央RC
*文書着 川崎高津南RC

<ニコニコ委員会> 尾崎委員
東京西北RC 井部秀恭様→「王禅寺に住居しており機会あればまた参加させていただきたく思ってお

ります」。当クラブより 井上勇会長→「暑くなってきました。皆さん体調に気をつけてロータリー活動を頑張りましょう」。井上久幹事→「エレクト、財団、米山委員会の報告よろしくお願ひします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤美恵子会員、安藤亨会員、安藤志子会員、浅野会員、鴨志田会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、白井会員、玉井会員、寺川会員、鵜飼会員、碓井会員、結城会員、尾崎会員。

<出席委員会> 碓井委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1729回	40	27	13		67.5%
第1728回	40	30	10	3	82.5%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	25,000円	116件	143,931円
財団	0件	0円	2件	26,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	1件	20,000円	2件	23,000円

<米山奨学委員会> 玉井委員
安藤美恵子会員からいただきました。

- 第1731回 8月5日 クラブフォーラム クラブフォーラム
- 第1732回 8月19日 クラブフォーラム ラオスプロジェクト
- 第1733回 8月26日 クラブ協議会 ガバナー補佐

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ラオスプロジェクト>

古澤委員

ラオス奉仕活動の決定事項がありますので報告いたします。ぜひご参加いただき、7月末までにお申し込みください。

活動日程 9/19(金)～9/23(火)

現地には歯ブラシ3,000本と励行キャンペーンのA2ポスターを2種約500枚位準備する予定です。

<会計>

柏川会員

前年度第36期の会計報告をいたします。当初予算に余裕がなく大変心配をいたしました。予算に対する決算額の大きな差異もなく予算内で収まることができました。

本日のプログラム

<委員会報告>

■エレクト

鴨志田会長エレクト

今期RI会長は『ロータリーに輝きを』、井上勇会長は『挑戦』とクラブの活性化の推進に向けた素晴らしいテーマを掲げてスタートしました。



そのために必要なのはやはり会員の増強です。

会員増強の玉井委員長、職業分類の大西委員長、会員選考の関山委員長、ロータリー情報の小塚委員長、そして委員の皆様のご協力が必要不可欠です。

当クラブは会員の年齢が30代～80代と幅広く、どの年代も偏ることのないバランスを保っています。この年齢分布を崩さないように、良き友の入会を促進していくようにと考えております。

次年度には会員数45名を目標にし、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■ロータリー財団

佐藤委員長

～ロータリー財団について～

1917年、アーチC.クランプRI会長が『世界で良いことをするために』基金の設置を提案。この基金が1928年に『ロータリー財団』と名付けられ現在に至っています。



～ロータリーの奉仕の理念～

人々の健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目指しています。

～交易目的事業の趣旨～

個人が海外留学するためもしくは海外から日本へ留学するための奨学金およびロータリー平和フェロシップの付与。非営利財団法人である国際ロータリーのロータリー財団活動を支援するための寄付金の提供で財団の人的、教育的プログラム一般を支えるための主要な財源となります。

～ポリオ撲滅～

これまで122ヵ国、20億人以上の子どもたちに予防接種を支援してきました。

今年度も会員皆様から財団へ120ドル ポリオ50ドル ベネファクター2名以上のご協力をお願いいたします。

■米山奨学委員会

玉井委員

米山奨学事業はロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生の優れた学業を支援し、交流を通じてロータリー精神を学び、国際理解



を深め、日本と母国の架け橋となるよう国際親善に尽くす人材の育成を目的としています。

米山記念奨学会の歩みは、1952年日本のロータリークラブの創始者、米山梅吉翁の功績を記念して東京ロータリークラブが日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を立ち上げました。米山記念事業の特徴としては、民間外交としての平和の種をまく、留学生への支援は未来に向かって平和の架け橋をかける奉仕活動です。

米山記念奨学会への寄付

普通寄付 一人当たり 5,000円

特別寄付 一人当たり 20,000円

特別寄付についての表彰

累計 10万円 第1回米山功労者

累計 100万円 第10回メジャードナー

全ての寄付金に税制優遇が受けられます。またこの財源をもとに奨学金プログラムで奨学生に支給されます。

米山記念奨学会のプログラムをご理解いただき、特別寄付について協力をお願いいたします。